

## 第10次金沢市交通安全計画案について

### パブリックコメントでのご意見と金沢市の考え方(回答)

募集期間 平成28年11月22日～平成28年12月21日

意見数:9件

No.	いただいたご意見の概要	金沢市の考え方
1	全国的に毎日のように悲惨な交通事故のニュースが流れ、聞くたびに心が痛みます。警察や行政には、特に歩行者や通学児童が巻き込まれる事故を徹底して防いでいただきたい。そのためには、車優先の交通環境や思想から早く脱却すべきだと思います。車にとってたとえ不便であったとしても、歩行者や自転車が安全で快適に通行できる環境づくり-例えば、自動車は幹線道路を使ってもらい“裏道”を通させない。そして裏道を通行することによる交通事故の発生リスクを伝える。自転車は車道を走ってもらうとともに、「自転車は車道が原則」というルールを車のドライバーに知ってもらう。そして何より歩行者優先の「思想」をきちんと定着させていくことが肝要だと思います。これまで金沢市は、全国に先駆けてこのようなことに積極的に取り組んでいるので、今後もより一層の施策の推進を期待します。	今後とも歩行者が安心して歩ける環境づくりを推進するため、必要な対策を講じてまいります。また、自転車が安全に通行できる環境づくりのため、引き続き自転車通行空間の整備を進めるとともに、利用者のルール・マナーの周知・啓発を図ってまいります。
2	交通安全は、すべての市民の生活に直結し、非常に大切な問題であると思います。着実に各施策を実施して交通事故を1件でも減らしてほしい。	今後とも交通安全意識の高揚を図り、悲惨な交通事故が1件でもなくなるよう警察等関係機関や団体等と連携の上、必要な対策を講じてまいります。
3	高齢運転者に係る悲惨な交通事故が多発していることから、免許の自主返納を支援していきべきだと思います。	免許の自主返納については、現在シルバー定期券の購入助成を行う支援を行っていますが、今後一層の周知に努めるとともに、より効果的な支援策について検討してまいります。
4	高齢者が免許を返納した後も外出できるように公共交通の充実・利便性向上を各地域できめ細やかに実施してほしい。	第2次金沢交通戦略の趣旨に基づき、公共交通優先のまちづくりを推進し、さらなる公共交通の利用環境の向上に取り組んでまいります。
5	交通事故の防止には、取締りや啓発だけでなく、道路や交差点の改良を含めた総合的な安全対策が必要だと思います。	道路管理者や警察等と連携し、ハード・ソフト両面で安全・安心な歩行環境の整備を推進してまいります。

No.	いただいたご意見の概要	金沢市の考え方
6	事故多発箇所や死傷者の年齢、事故の起こった時間帯などの情報があれば、この資料を読んだ人が交通事故について考える参考になると思います。事故情報を積極的に市民に公開していく必要があるのではないのでしょうか。	警察や関係機関と協力し、地域で開催する交通安全教室やホームページ等を通じて情報を発信してまいります。なお毎年、市ホームページにて市内で発生した交通事故の概況をまとめた「金沢市の交通事故」を掲載していますのでご覧ください。
7	自転車のルールやマナーはほとんどの人が知らないと思う。教育の一環として教えることが必要だと思えます。	小学校3年生全員を対象とする自転車安全教室や中学1年生全員を対象とする自転車ルール・マナー検定の実施、また公民館などで開催する地域サイクルマナー教室や毎月警察や関係団体とともに実施する街頭指導を通じて、全ての世代に自転車利用のルール・マナーの徹底を図ってまいります。
8	最近では自転車の利用が注目を集めているが、ルールやマナーの周知がまだまだであると感じるので、特に大人や高齢者に向けてもっと積極的に取り組んでほしい。	
9	街頭交通推進隊の活動は本当に有難いです。おかげで安心して子どもを学校に行かすことができます。	今後とも街頭交通推進隊をはじめとする交通関係団体の活動を支援しながら、悲惨な交通事故の根絶に向けて子どもの安全確保を図ってまいります。